

こんにちは。

私はオーストラリア・南オーストラリア州のアデレードという街で留学生活を送っています。日本との時差は1時間30分とあまりないものの、季節が真逆の夏なので毎日とても暑いです。昔から多くの移民を受け入れているというアデレードは、その歴史からさまざまな人種の人が生活しているため、街を歩く人達は本当に多様です。私が通っているウッドビル高校には約70か国の生徒が在籍しており、選択授業にも、ベトナム語やインドネシア語、アボリジニの文化を学ぶ授業などがあります。校舎がとても広く、初めのころは授業間の移動が大変で、毎日校舎案内のマップを片手に生活していました。

現地の高校に通い始めてからの1か月、私が悩んでいたのは、やはり言語の壁です。慣れない英語での会話に戸惑ったり、英語で行われる授業についていけなかったりして、「もっと英語が話せたら…」と何度も思いました。今年度ウッドビル高校に入学した留学生は、私以外すべてベトナム人で、彼らは基本的にベトナム語で会話をしているので、初めは友達を作るのが大変でした。しかし、授業を受ける中で留学生以外の生徒とも交流をして、少しずつ友達を作ることができています。授業もだんだん聞き取れるようになり、先生の質問に答える余裕が出てきました。今まで授業内で自ら発言することがあまりなかったので、英語力以外の面でも自分の成長を感じています。

この1か月で学んだことは、「何事にも恐れずに、まずはやってみる。」ということです。私はもともと英語がペラペラ話せるわけではないので、英語で会話することに自信がありませんでした。しかし、ホストファミリーや先生、友達は、私の話を理解しようとしてくれるので、文法が間違っても恐れずに、コミュニケーションを続けることが大事なのだ気が付きました。オーストラリアに来てすぐの頃は、質問に対して短い文章で答えることしかできなかったのですが、今では話題を持ち掛けたり、質問にも具体的に答えたりできるようになりました。

この1か月は本当にあっという間でした。充実した留学生活を送れるかどうかは自分の行動力にかかっていると思うので、残りの9か月もたくさんの方に挑戦して、悔いのない毎日を過ごしたいです。

白鷗高校 12期生 次世代リーダー 8期生 S・K